



2024年12月 8日
第93号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第4号

「南武線ワンマン運転について」に関する解明申し入れ 【全25項目】団体交渉を行う！①



1. 南武線がワンマン運転できる根拠を明らかにすること。

【会社回答】ワンマン運転に必要な条件が整ったため、南武線においてワンマン運転を実施する。

組 合	会 社
フルタイムでのワンマン運転なのか。	<u>フルタイムでワンマン運転を実施する。</u> ポイント!
必要な条件とは具体的にどういうものなのか。	路線や駅等の特情を踏まえて、必要な技術や設備を導入し、 <u>区間等を限定せずにワンマン運転を実施していく。</u> 南武線においても車両改造含めた必要な設備、必須ではないがホーム上の安全向上というところでホームドアの整備をした上で、必要な準備が整ったのでワンマン運転を実施する。
必要な条件というところで、ホームドアの整備や技術等があるが、必要な条件というのは項目ごとにあるのか。	ワンマン運転を行う上で <u>車両の改造、教育の体制、</u> ホームドアの整備は必須ではないが <u>ホーム上の安全向上、環境的な面等も含めて全体的に考えた。</u>
ワンマン運転を実施していくにあたり、「ワンマン運転を行う」ということで実施できるものなのか。それとも、国土交通省に届出をして、許可を得て実施していくものなのか。	会社内でしっかり議論を行った上で、まずは実施できるかどうかをしっかりと検討していく。省令等が様々あるので、抵触しないかどうかしっかりと確認をした上で、 <u>最終的には国土交通省の関東運輸局とコミュニケーションを取り、指導を受けつつ実施基準の改定等も含めて相談しながら進めている。</u>
社内で検討を加え、実施基準の整備等を届出て許可を得るということでよいか。	大まかな流れとしてはその通り。
相模線や鶴見線の線区の特情とは違い、今回は南武線ということで、地域で利用される方の特情・利用者数・乗車率等もあると思うが、 <u>規模が違う点についてどのように考えているのか。</u>	これまでの中編成ワンマンに比べ、 <u>お客さまのご利用状況が多いという認識。</u> なので、6両編成は通常は中編成ワンマンだが、 <u>ご利用状況が多いので長編成ワンマンと同じように扱っていく</u> というところで整備している。
南武線の特情として、お客さまの数が多いということがありますが、 <u>その他に会社として南武線の特情はあるのか。</u>	朝夕ラッシュの他に、 <u>日中帯でもご利用状況が多い</u> というのが特徴。あとは、 <u>縦に長い線区なので中編成ワンマンに比べて乗り換え・接続駅が多い</u> と認識している。
特に土曜・休日の日中帯、利用者が多いという認識はあるか。	乗車率も箇所として見ている。 <u>そういうところも、しっかり見させていただいている。</u>
乗務員の不安な点として、朝ラッシュというのもあるが、 <u>ある程度お客さまが慣れてきた中で、土休日の昼間のベビーカーや交通弱者というところに対するドア扱いに不安がある。</u>	南武線オフィスとコミュニケーションを取り、 <u>声があるのは会社として把握している。</u>
「乗車率を見ている」と回答があったが、 <u>どのようにチェックしたのか。</u>	乗車率については、車両のデータ、駅の入出場の記録、あとは人海戦術しながらご利用状況を見ている。
南武線をご利用されるお客さまが多く、ある程度の駅でラッシュ帯においては立ち番を配置しながら安全の確保、乗換案内等を行ってきたが、それについてワンマン運転に向けてどのように考えているのか。	中編成ワンマンとは違い、無人駅が無いので駅であれば放送する等、全体的にできればと考えている。

【会社回答のポイント】

- ・フルタイムでワンマン運転を実施!
- ・区間等を限定せずにワンマン運転を実施!

次号②へ続く